

5 お手入れ

表面が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きします。
汚れがひどいときは、柔らかい布を中性洗剤を少量入れた水に浸し、よく絞ってから拭きます。

注意	※シンナー・ベンジン・アルコール・油類・化粧品などは表面の仕上げを傷めますので 使用しないでください。
----	--

6 主な仕様

本体寸法	113(W)×155(H)×77(D)mm	使用環境	屋内 (0℃～40℃)
本体重量	約400g	人感知センサー	感知距離：0～2m (センサースイッチ「入」時のみ有効)
電源	DC5V	メッセージ録音再生	チャンネル数：2チャンネル 録音再生時間：各チャンネル最大約90秒
消費電力	約3W		
音声出力	2W (最大)		
ACアダプタ	AC100V (50/60Hz) コード長：1.8m		

ラク録ポップ
音声録再機 MC-N01

取扱説明書 (兼保証書)

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。
また、この取扱説明書を大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用になる前によくお読みの上、必ずお守りください。

⚠ このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

⊘ このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

❗ このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ **警告** 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⊘ ACアダプタの交流電源は100V (50/60Hz) 以外は使用しない。
●火災・感電・故障の原因になります。

⊘ 付属のACアダプタ以外は使用しない。
●火災・故障の原因になります。

❗ ACアダプタの金属部にほこりが付着していないか確認し、根元まで確実に差し込む。
●ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、火災の原因になります。

⊘ ACアダプタのコードやプラグが傷んでいるときは使用しない。
●火災・感電・ショートの原因になります。

⊘ 濡れた手で本体やACアダプタなどに触らない。
●感電の原因になります。

⊘ 分解・改造をしない。
●火災・感電・故障の原因になります。

❗ 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、ACアダプタを抜く。
●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⊘ 屋外で使用しない。
●屋外などで使用すると、風雨などで、感電・故障などの原因になります。

⚠ **注意** 「傷害を負う、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示します。

⊘ 温度が低い場所 (0℃以下)、温度が高い場所 (40℃以上) や、湿度が高い場所 (90%RH以上) では使用しない。
●動作不良・故障の原因になります。

⊘ 内部に異物や水分を入れない。
●火災・感電・故障の原因になります。

❗ ACアダプタを抜くときは、必ずACアダプタ本体を持って引き抜く。
●電源コード破損の原因になります。

⊘ ACアダプタのコードをねじらない。
●コードをねじると、途中で断線し、火災・感電・故障などの原因になります。

⊘ 火気の近くや、直射日光が長時間当たる場所で使用しない。
●変形・故障の原因になります。

⊘ 不安定な場所や、振動の多い場所に置かない。
●落ちたり倒れたりすると、けが・故障の原因になります。

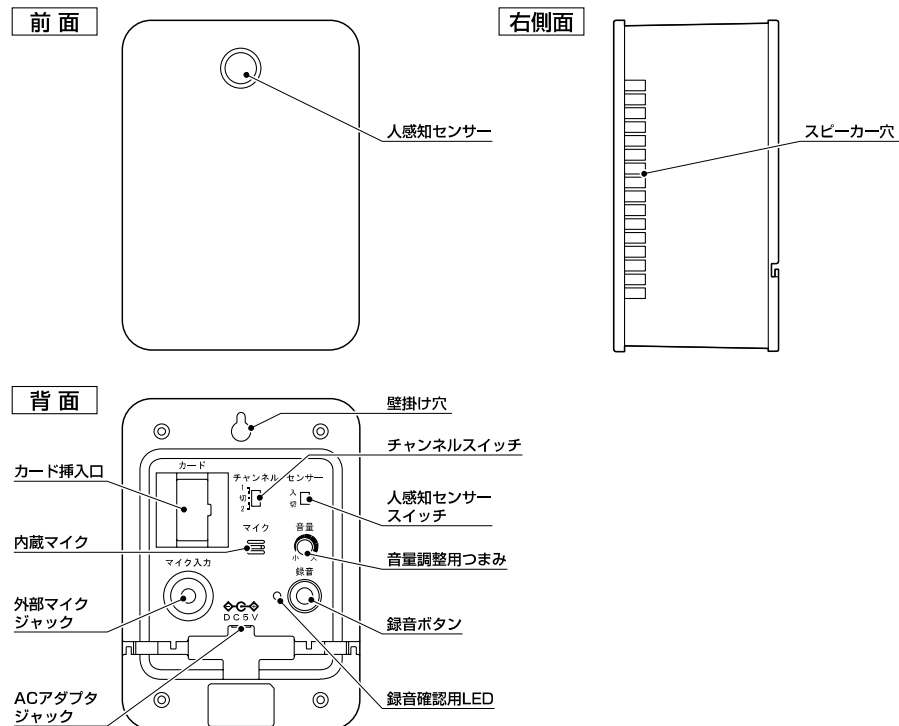
⊘ 本機の上に重いものを置かない。
●バランスがくずれて倒れたり、落下して、けが・物的損害などの原因になります。

1 ご使用の前に

本体と下記付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

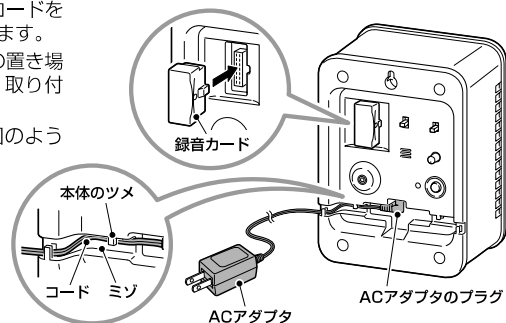
- 録音カード AD-CD11
 - ACアダプタ1
 - 取扱説明書（兼保証書）1
- ※録音カードは本体に挿入してあります。

2 本体各部の名称



3 準備する

- 本体にACアダプタのプラグを差し込み、コードを本体のツメに引っ掛けて、ミゾにはめ込みます。
※ACアダプタはご使用になる状況（本体の置き場所や電源コンセントの位置）によって、取り付ける向きを選んでください。
- 録音カードが挿入されていない場合、右図のように挿入します。



4 使い方

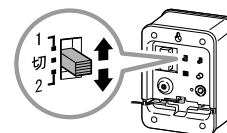
- ご使用のときは、ACアダプタを電源コンセントに差し込んでください。
- 録音カードが挿入してあることを確認してください。

注意

※録音カードが挿入されていないと録音・再生ができません。
※録音カードを本体に挿入するとき、または引き抜くときは、本体のチャンネルスイッチを必ず「切」にしてください。「切」にしないと、録音カードに録音したメッセージが消える場合があります。

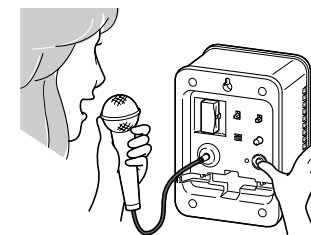
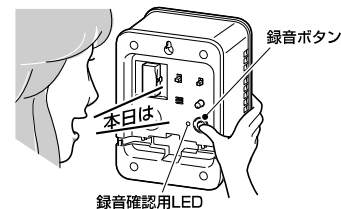
1 録音する

- ①チャンネルスイッチを録音したいチャンネル（「1」または「2」）に合わせます。
※チャンネル「1」、「2」に、それぞれ別のメッセージを録音することができます。



- ②録音ボタンを指で押したままで録音確認用LEDが赤色に点灯したら、内蔵マイクに向かってメッセージを録音します。
※周囲の音も録音されますので、静かな場所で録音することをおすすめします。

※外部マイクを使用して録音する場合、外部マイクジャックに外部マイクのプラグを差し込み、手順②と同じ方法で外部マイクに向かってメッセージを録音します。



- ③録音を終了するときは、メッセージ終了後、1秒以上経過してから録音ボタンを離します。録音確認用LEDが消灯に変わり再生モードになります。

注意

※録音ボタンを押し、録音確認用LEDが赤色に点灯すると、以前に録音した音声は消去されます。

- ④人感知センサーが「入」の場合、録音を終了すると自動的に1回再生され、録音したメッセージを確認することができます。「切」の場合、録音したメッセージを繰り返し再生します。

2 再生する

- ①チャンネルスイッチを再生したいチャンネル（「1」または「2」）に合わせます。選択したチャンネルのメッセージを再生します。
- ②再生音は音量調節つまみで適当な音量にします。時計回りにまわすと音量が大きくなります。
- ③人感知センサーを使用する場合、人感知センサーを「入」にします。センサーが人体を検知すると、録音したメッセージを再生します。



注意

※人感知センサーは電源を入れた直後から30秒間は動作しません。
※人感知センサーは原理上、犬などの動物や車、ストーブなど、人以外の熱源で動作する場合があります。
※人感知センサーの前にシール等を貼ると、感度が低下することがあります。
※人感知センサーは、外気温などの環境により、感知距離が変わることがあります。

